

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	<b>決算特別委員会 総務文教分科会</b>		会議場所 第3委員会室
			担当職員 小川
日 時	令和7年9月19日（金曜日）	開 議	午前10時00分
		閉 議	午前10時45分
出席委員	◎竹内 ○三上 原野 小林 浅田 山本 松山 福井		
執行機関出席者			
事務局	小川事務局次長		
傍聴	<input checked="" type="checkbox"/> 否	市民 0名	報道関係者 0名           議員 0名（ ）

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開議

### 2 委員長報告の確認

<竹内委員長>

—委員長報告の朗読—

<竹内委員長>

委員長報告に委員の皆さんに意見を願う。

<福井委員>

2ページの中で「実質単年度収支は」の最後の「は」を「でも」とする方がよい。実質単年度収支が6年連続の黒字であることを強調すべきであると思う。

<松山委員>

実質収支をフォーカスするよりも実質単年度収支がフォーカスされるべきだと思うので、実質単年度収支を際立たせる方がよい。

<福井委員>

実質収支の金額は入れた方がよい。半分以上基金に積むことができるので、実質収支の黒字額というのはあってもよい。だが、6年連続で実質単年度収支が黒字だったという事実を強調した方がよい。

<竹内委員長>

「実質単年度収支は」の最後の「は」を「でも」に置き換えることにする。

<福井>

「黒字額」の「額」を入れた方がよいのか。「額」を取ってもよいと思う。

<竹内委員長>

「黒字額」の「額」を削除する。

<原野委員>

3ページ下から7行目について、「予算執行も」の最後の「も」は変更した方がよいと思うが変更するのかどうか確認したい。

<竹内委員長>

「予算執行も」を「予算執行が」に置き換えて、「予算執行がなされた」と認定するに変更

する。この上からゆっくりもう一度読む。「目的と」から読む。「目的と事業内容が適正に事業展開」、次に書いている。「事業展開や予算執行がなされた決算であると認定するとの賛成討論があった。」さらに上の段落について、「採決に先立ち」ここ3行ほど変えている。「採決に先立ち人権啓発費、学校給食基本計画策定業務など」を最後「など」を「等」の漢字にした。次に「予算審査時で反対し」を「予算審査時に、」に置き換え、「との反対討論があり、」を「との反対討論がありました。」に置き換える。

<三上副委員長>

区読点はいらない。「予算審査時に指摘した」でよい。

<竹内委員長>

「予算審査時に指摘した項目が改善されたとは認められない」との反対討論がありました。」にしている。ここで文を区切ることで、それを受けて「一方」と続くようにしている。

<竹内委員長>

「採決に先立ち、人権啓発費、学校給食基本計画策定業務等予算審査時に指摘した項目が改善されたとは認められないとの反対討論があった。一方、学校給食基本計画では十分調査した結果であること、実現可能性を求める調査費用であるため賛成すること、全体的に見渡して当初予算を編成した時の目的と事業内容が適正に事業展開や予算執行がなされた決算であると認定する」との賛成討論があった。読んでみて長く感じるかな。

<三上副委員長>

「賛成すること」というのは小林議員の発言で、「全体的に見渡してた」のは、「全体的」にということ。福井委員が賛成討論されているのでここに「点」と入れておいた方がよい。「すること」である。「また全体的に見渡して当初予算を編成した時の目的と事業内容が適正に」とここで「事業」と言うているので「事業展開」で「事業」を重ねる必要はない。「事業内容が適正に展開された予算執行で」など、表現を短くできないかと思案する。

<福井委員>

「事業内容」か「事業展開」かどちらかを取った方がよい。「事業展開」の方が分かりやすいかもしれない。「編成した時の目的と内容が適正に事業展開なされるのが」として、「展開」の表現にこだわりたい。

<竹内委員長>

「編成された時の目的通りに事業展開がなされ、適正に予算執行された」「決算であると認定する」とする方がよい。予算執行が適正であって目的通り事業が展開された。だから内容が適正であり、その通りに事業展開されたと解釈できてよい。「目的通りの事業展開がなされ、適正な予算執行であったと認定するとの賛成討論があった。」の方が分かりやすくなったのではないか。これで皆さんの賛同が得られるか。

—全員了—

<竹内委員長>

3ページの上から7行目から最後まで「かめおか児童クラブでは児童の良好な保育環境を確保するため」次のところで「夏季休業期間開設教室の増設、学校夏季休業期間におけるデリバリー弁当」と「夏季休業期間」が2回出てくるので読みにくい。

<三上副委員長>

「夏季休業期間における増室、デリバリー弁当の斡旋」、「増室」を止めて、「教室の増設」にすると、「夏季休業期間における教室の増設、」にすると2回も言う必要がなくなる。

<福井委員の>

確かに2回も要らない。

<三上副委員長>

「山間地かめおか児童クラブ利用児童」では「かめおか児童クラブ」は要らない。「山間地

の利用児童」にしても最初に「夏季休業期間中」と入っているのでわかるはずである。

<松山委員>

3ページの上から5行目「中学校での保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業の取組」は何のために取組をしたのか分からないけど、その上の小学校の取組を見て理解すればよいのか。

<三上副委員長>

2つをまとめて「亀岡への郷土愛や環境に対する心を育む取組として小学校でのエコアクッキング事業、中学校での保津川下り体験乗船事業」とすればどうか。「取組」を必ず入る必要はない。「実施」でもよい。

<松山委員>

2ページの15行目「デジタル広告」の最後「を構築した取組」を「の構築」にしてはどうか。

<松山委員>

次の2ページ17行目も最後の「未来を担う～取組」を最初に持って行くのはどうか。

<三上副委員長>

最初に持って行くと「取組」は「派遣」の意味なので削除してもよい。「取組」の代わりに「ため」でよい。

<竹内委員長>

スティルウォーター市とクニッテルフェルト市は両市ともに派遣するのではなかったのではないか。スティルウォーター市は受け入れでクニッテルフェルト市は派遣である。

スティルウォーター市とクニッテルフェルト市の国際交流に改める。

<竹内委員長>

そのように修正してよいか。

—全員了—

10:30

## 2 事務事業評価結果の確認

<竹内委員長>

—事務事業評価結果の朗読—

<竹内委員長>

委員の皆さんに意見を願う。

<福井委員>

二十歳式典経費での「昇華させること」の表現を入れる必要はないので、削除した方がよい。

<竹内委員長>

「昇華させること」を削除する。

<小林委員>

コミュニティ推進経費のところで、一つ目の意見に「よう」の表現が2つも使われているので、改善してはどうか。

<三上副委員長>

自治会が補助金の目的、内容、金額等を説明する責任があることが前提である。「自治会が住民に説明責任を果たすようにすること」の意味の文章がを2回も重なっているので、1つの表現にする方がよい。文中で「を全ての住民が理解できるよう」を削除し、「について」に置き換えて、さらに「各自治会が住民に説明責任を果たされるよう、市として働きかけられたい。」としてはどうか。最後に「市として」を入れた方がわかりやすい。

<山本委員>

かめおか児童クラブについて「民間力の導入による質の高い保育環境の維持に努められたい」とあるが、長期休暇の朝の支援員確保について述べたが、「質の高い」と言うのは意味が異なり、警備員とかシルバー人材センターの会員を配置するという意味につながってしまうと困る。「導入」を「活用」に改めて、「支援員の確保や人材育成(研修)、さらなる学校や家庭との連携、民間力の活用も含め、保育環境の充実に努められたい。」としてはどうか。

<三上副委員長>

このままだと民間力を導入せよという意味になるので、山本委員の言うとおり、表現を変更した方がよい。

<山本委員>

本来なら市教委が直接公募して支援員を選んでもらいたいが、市教委の負担に配慮して民間力の活用も含めて検討するように促したいとの意味を込めたい。

<竹内委員長>

他に修正する箇所はないか。

—全員了—

<竹内委員長>

他になければ、以上で総務文教分科会を閉議する。

10 : 45